

《雑学風味》「単車の語源」

オートバイが開発された間もない頃は、必ずサイドカーが付いており、バイクとサイドカーを合わせて一つの乗り物と考えられていたため、オートバイのみのものを単車と呼ぶようになったそうです。

まちのできごと

家族の大切さを学ぶ

パパの子育て勉強会

6月25日、藤里保育園において、3歳未満児の子育て中の父親を対象とした子



パパの手おっきいね

その後、開発センターに会場を移し、「やさしさについて」と題した講話では、藤里町大沢月宗寺住職の袴田俊英さんから貴重なお話をいただきました。

6月20日の父の日、町民体育館において、幼稚園児の親子を対象とした家庭教育学級が行われました。

この事業は、毎年父の日に開催されており、今年には能代市のリトミック指導員の工藤絵里奈さんを講師に迎え、音楽に合わせて体を動かしたり、絵本の内容と同じように動いたり、様々な道具を使って一緒に遊んだり、大好きなパパやママと楽しくふれ合いました。

親子で遊ぼう！

家庭教育学級

万が一の有事に備え

消防競技大会

天候に恵まれた6月27日、平成22年度藤里町消防競技大会が三世代交流館駐車場において実施されました。



ためになりました

育て勉強会が行われました。

この日は、能代ミュージカルの今立善子氏を講師に迎え、「明るく生きること」と題した講座が行われました。講座は、今立氏の一人芝居から始まり、自身がこれまでの人生で直面した困難や経験してきたこと、能代でのミュージカル活動を通して多くの親や子どもたちと出会い、触れ合い、そして感じたことなどが語られ、生きていることの素晴らしさ、人の優しさや、家族、親子の絆の大切さを再度確認させる内容でした。

講座終了後、参加者からお礼を兼ねて、「親子の時間を大切に、子どものやることに興味を持っていきたい」と感想が述べられました。

開会式では、殉職消防団員への黙とう、人員報告に続いて、石岡町長より「当町の消防団は、4月から小山団長・佐々木副団長の新体制となりましたが、前淡路団長には、平成14年から8年間、消防団のトップとして、住民の安全と安心を守るため、防火や防災活動に昼夜を問わずご尽力をいただきました。心から敬意と感謝を申し上げます。淡路さんには、今後とも、消防人の先輩としてお力添えをいただきたいと思います。町内では昨年1件、今年には既に2件の住宅火災が発生しました。また、雨期に入ると毎年のように全国各地で河川の氾濫や土砂崩れ等で甚大な被害が発生しており、消防団の果たす役割は今まで以上に重要で、地域住民の消防団に対する期待も益々大きくなっています。本町のような小規模な自治体ほど、消防団員の皆さんのお力をお借りしなければ、町民の負託に応えていくことは出来ないと思っております。この後、規律・小型ポンプ操法の競技に入りますが、日頃の訓練の成果を存分に発揮して、美り多い競技大会であることを期待します」と告示が述べられました。

町民の見守る中おこなわれた競技では、規律の部、小型ポンプ操法部門ともに第2分団が見事1位に輝きました。

【競争交付者】

《班長昇格》

- ・石岡 俊哉 (館の下・第2分団)
- ・園部 精一郎 (巻端家・第4分団)
- ・石田 勝則 (寺屋布・第5分団)

《採用》

- ・村岡 広 (金沢・第5分団金沢班)